

## 第3回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 ワークショップ 概要書

ワークショップ名	活きた身体所見のとり方 -身体所見の小テストを用いて-												
開催の目的	プライマリ・ケア領域で臨床を行う医療従事者にとって基本的な臨床スキルである身体診察を病歴聴取と関連づけながら、楽しく習得する												
対象	<p>■診療所医師      ■病院勤務医      ■初期研修医      ■後期研修医</p> <p>■学生</p> <p>□その他（学生には少し難しいかもしれませんが参加可能です）</p>												
定員	定員：48名：会場が許す範囲の最大数でお願いします：立ち見も可（許さるのであれば） ※機の配置は全て島組（6人/1島）												
講師名	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 15%;">司会</td> <td style="width: 35%;">川島 篤志</td> <td style="width: 50%;">（市立福知山市民病院総合内科）</td> </tr> <tr> <td>補助</td> <td>渡邊 力也</td> <td>（市立福知山市民病院総合内科）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>和田 幹生</td> <td>（市立福知山市民病院総合内科）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鈴木 龍児</td> <td>（市立福知山市民病院総合内科）</td> </tr> </table>	司会	川島 篤志	（市立福知山市民病院総合内科）	補助	渡邊 力也	（市立福知山市民病院総合内科）		和田 幹生	（市立福知山市民病院総合内科）		鈴木 龍児	（市立福知山市民病院総合内科）
司会	川島 篤志	（市立福知山市民病院総合内科）											
補助	渡邊 力也	（市立福知山市民病院総合内科）											
	和田 幹生	（市立福知山市民病院総合内科）											
	鈴木 龍児	（市立福知山市民病院総合内科）											
概要	<p>「頭のとっぺんから足の爪の先まで」診れる医師になりたい！そう思ったことのある人も多いと思います。「病歴と身体所見で診断がつく！」と言われていますが、本当でしょうか？</p> <p>学生時代のOSCEでも診察技法は学んで来ている人も多くなっていると思いますが、「活きた」身体所見を取れる人は多いでしょうか？教えられる機会はあるでしょうか？</p> <p>国家試験でもキーワードのように並ぶ身体所見から、検査前確率をあげて、机上で診断してきました。でもそれがそのまま臨床の場でいかされているのでしょうか？</p> <p>このワークショップでは、単純な身体所見の取り方ではなく、どんな時にどんな身体所見を取ることによって、診断や重症度判定の検査前確率をあげられるのか、ということを考えて、身体所見の小テストを解いていきます。テンポ良く進んでいっても、きっと時間どおりには終わりません(すみません)。最後は、講師から解答を伝えていくだけになるかもしれません。できたら<b>事前の予習(WS受講決定後、送信したいですが可能でしょうか?)</b>をお願いします。</p> <p>なお、電子化された解答は作成していません！WS内で解答を作り上げて下さい。みんなで楽しくやりましょう！このWSに出た後は、あなたは「大変な」医師になっていることを実感していただきます！</p>												